

平成29年度国連アジア極東犯罪防止研修所第2回保護司国際研修に参加して

更生保護法人 至徳会 太田 秀夫

この度、国連アジア極東犯罪防止研修所に於いて平成29年度第2回保護司国際研修に参加することになりました。研修資料によれば、セミナーの参加者は、国内外を問わずまさに高官の方々であり、今回の研修については不安と緊張が交錯し複雑な心境でした。

入所当日、駅からタクシーで研修所の近くに降りて建物を見たところ、新しく綺麗で入所して案内された部屋も同様に綺麗なことに驚き、昨年10月に移転したとのことで、今回の保護司国際研修がこの建物での初めての保護司国際研修と云うことを聞かされ、記念すべき研修でした。

当日、オリエンテーション等を終え、事例発表のため会場に移動し入室した途端に各国の国旗や国連旗が机の上に置かれており、まさにテレビ等で見た国連の会議場を思わせる雰囲気の中で緊張の連続でしたが、全員の事例発表を聞き、其々、色々な問題を抱えつつ、苦勞しながら対応しており、保護施設勤務する私にとっても貴重な事例を聞くことが出来て良かったなと思いながら、席を離れようとした時に、私の背後から肩を軽く叩く参加者が立っており、振り返るとある海外の参加者が私に携帯電話を見せたので、内容を読むと「貴方達の活動に感動しました。これからも頑張ってください。」と日本語に訳された言葉が表記されており、これを見て、我々の活動に理解を示してくれた海外の参加者が居たことに感激して、思わず立ち上がり握手をし、今回の研修を受けて本当に良かったとしみじみと感じました。

その後、当日の研修を終え、海外及び国内の参加者との懇談会が行われ、研修を離れリラックスした雰囲気の中で、全員が和気藹々で楽しそうに話し、私もお粗末な英語で何とか隣席の海外の方と話す機会が有り、私の人生の中では、様々な国の方と交流する機会は滅多にある事ではなく、貴重な体験が出来た事を嬉しく思いながら、あっと云う間に時間が経過し御開きとなりました。

翌日、ロイ・ゴッドソン氏の講義が有り、参加者の方は熱心に聴取され、講義後の質疑応答では、専門的な質問も多く参加者の意識の高さを改めて痛感し、よりハイレベルな知識の必要性を感じました。

今回の研修は、前述のとおり、当初の不安と緊張が入り混じった状態が、いざ入所してみると、研修所の雰囲気や教官の方々の親切かつ丁寧な対応に安堵し、不安や緊張が和らぎ、安心することが出来ました。

最後に、立派な修了書を授与され、研修の良き思い出や記念となり、今回の研

修を通じて職務の参考となることも多く有り，研修に参加される方々の職務向上に貢献されることに敬意を表します。